

外科手術、がん治療等を受ける患者さんへ（NCD）

新小倉病院は **National Clinical Database** に参加しています。

（日本臨床データベース機構）

昨今、病院医療の崩壊や医師の偏在が叫ばれ、多くの学会や団体が医療再建に向けて新たな提言を行っていますが、どのような場所でどのような医療が行われているかが把握されない状況では、患者さん目線の良質な医療は提供できません。また、患者さんに向けたより良い医療を提供するには、医療の現状を把握する事が重要です。

そこで、日本では日本外科学会をはじめとする多くの臨床学会が連携し、『一般社団法人 **National Clinical Database**』（以下、NCD）を立ち上げ、臨床情報をデータベース化する事業を開始しました。この法人による事業を通じて、患者さんにより適切で最善の医療を提供するための各臨床現場の取組みを支援することが可能となります。

NCD に登録される情報は、日常の診療で行われている検査や治療の契機となった診断、手術等の各種治療やその方法等になります。これらの情報は、それ自体で患者さんの個人を特定することはできませんが、患者さんに関わる重要な情報なので厳重に管理されており、個人情報の取り扱いや安全管理にあたっては、関連する法令や取り決め（「個人情報の保護に関する法律」、「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンス」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等）を遵守しています。

また、登録された情報は、参加施設の治療成績向上ならびに皆様の健康の向上に役立てるため、参加施設ならびに各種臨床領域にフィードバックされます。この際使用される情報は集計・分析後の統計情報のみとなりますので、患者さん個人を特定可能な形で NCD がデータを公表する事は一切ありません。

NCD 参加施設では、日本全国の標準的成績と対比をする中で自施設の特徴と課題を把握し、それぞれが改善に向けた取組みを行います。国内外の多くの事例では、このような臨床現場主導の改善活動を支援することにより、質の向上に大きな成果を上げていますので、当院もこの NCD に参加し医療の質の向上に努めています。

なお、本事業への参加は患者さんの自由な意思に基づくものであり、参加されたくない場合は、データ登録を拒否して頂くことができます。また、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ありませんのでご安心ください。

その他、ご質問やお問い合わせにつきましては受診された診療科にお願い致します。

2018年9月

新小倉病院 院長